

景況レポート

(2月分・情報連絡員 80名)

厳しさ続くも悪化度はやや緩和

【概況】 2月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが6.3% (前月調査5.0%)、「悪化」が60.0% (同68.8%)で、業界全体のDI値は-53.7となり、前月調査と比較し10.1ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-56.2で前月調査(-71.9)に比べ15.7ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-52.0で前月調査(-58.3)に比べ6.3ポイント上回った。

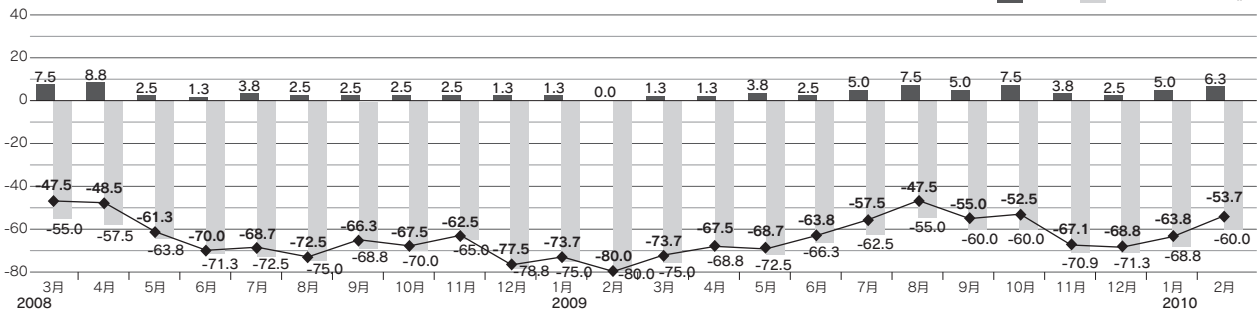
消費の落ち込みによる売上不振や、受注の減少による経営圧迫の声が多く、景況感は依然として厳しい。そうした中、自動車・家電販売は引き続き前年同月を上回り、繊維製品製造業の一部では受注量が増加、一般機器製造業はやや持ち直しの傾向が見られた。
(回答数：80名 回答率：100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

【凡例】
 快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 曇り △10以上 10未満
 雨 △30超 △30以下
 雷雨 △30以下
【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

*DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、増加 (好転) したとする企業割合から、減少 (悪化) したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合 [前年同月比]



業界の声

豆腐油揚製造	消費低迷の実感は当業界でも感じられる。取引先のスーパーの売上は、良くして横ばいという状況であり、売上は伸びない。
清酒製造	1月分の清酒出荷量は1,094kℓで、前年同月比91.9%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で113.8%、純米酒が87.8%、本醸造酒が80.6%、レギュラー酒が92.9%という状況になっている。
麺製造	スーパー等の売上減少を見ても分かるように消費者の購買意欲がなく、昨年より売上が低迷している。
繊維・同製品	2月は幾分受注量が増加した。昨年秋から1月までは仕事量が激減していたが、ここに来て平日に休業しなくても良い状況になってきた。
木材・木製品	冬期間ということもあり2月の売上は落ち込みが激しかった。杉集成材用ラミナは堅調に推移している。
一般機器	業況は全般的にやや持ち直しの傾向が見られるが、資金繰りは依然として厳しい。
自動車販売	2月の新車販売台数は、登録自動車が1,943台(前年同月比143.2%)、軽自動車が1,641台(同99.8%)で、合計3,584台(同119.4%)であった。登録自動車は8カ月連続して前年同月を上回った。
電機販売	エコポイントの効用が続いており、売上は増加している。
石油製品	ガソリン1ℓ当たり128円で前月比3円の引き上げ、軽油は1ℓ当たり106円で前月比2円の引き上げ、灯油(配達込み)は18ℓ宅配で1,354円で前月比64円の引き上げとなった。今冬の灯油は、昨年12月以降数量は出ているが、昨シーズンと比べマージンは悪化している。
商店街	業種によって違いはあるものの、量販店と競合する業種である酒、日用雑貨、薬局、文具は特に苦戦を強いられ、資金繰り・収益確保が難しい状況にある。[秋田市] 来客数・売上高ともに減少傾向が続いている。新入学シーズンを迎え、関連業種は実績を作っているが、生徒数の減少と競合により前年に比べ売上はややマイナスとなっている。[大館市]
旅館	前月に引き続き韓国からの観光客は好調を維持しているが、国内旅行が全く動かない状況であり、厳しさが増している。
砂利	県内産骨材が減少し、価格も安定しない。県南では生コン用骨材が増加したが、先送り作業が集中したため、全体的には出荷量は鈍い。